

令和6年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、◇要望、◎質問 ※その他

1. 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	2. 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	3. 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
<ul style="list-style-type: none"> ●図書資料の館外個人貸出冊数は人口一人当たり5冊以上が望ましい。 ○駅近くにある図書館であり、利便性については申し分ないので、その強みを生かして広報活動を継続していくべきだと思う。どの部署も人的資源が不足している状況下で、できることを着実に実行していくべき。 ○ホームページが充実していて、ネット上の書籍の検索も容易なので、とても使いやすい。 ○LED 照明工事の予定通りの実施と臨時休館中の閉架書庫の整理を評価する。また休館時は、予約貸出や、新刊本を閲覧できるようにするなど、工夫が見られたことも評価できる。 ○昨年度より来館者が増加したことが評価できる。 ○電子図書館の貸出冊数が倍増したのは評価できる。誰もが等しく学べる図書館になっていると思う。特に、児童書の利用が増加した。 ○例年以上に広報活動に力を入れられていることは評価できる。 ○多面的な広報活動への工夫（自衛隊航空学生を含む）は喜ばしい。 ◇延滞者の貸出し停止の内規を規定とあるが、必要である。防止に努めて欲しい。 ◇今後も、予算の確保に努めてほしい。 ◇①「3月1日（土）、郷土作家那須正幹氏の作品4点を音訳資料として電子図書館に登録しました。これらについては、障害者等図書館サービス「ひなぎくネット」に登録された方のみ、利用が可能になりました」と『図書館年報』（7頁）にある。素晴らしい。 著作権などの関係があるとは思うが、範囲を広げることは難しいのか。 ◇レファレンス業務等のベテラン職員による新人職員への講習を期待する。 ◇利用者へのサービスをもっと充実させるためにも、どんどんレファレンス研修を実施していただきたい。 ◇郷土史、郷土文学の職員研修の充実を期待する。 ◎「延滞者等への利用制限に関する内規を定め、10月1日から、それに則って対処した」と『図書館年報』（5頁）に記載されているが、該当する人数（件数）、対処方法（貸出停止とあるが、どのくらい停止なのか？延滞者の反応などはいかがか？実施されて半年程度だが、わかる範囲で教えてほしい。 ◎ルルサス消防避難訓練・図書館単独の防災訓練を実施しているが、開館時の来館者への避難誘導のマニュアルは如何か。 ◎多方面に広報活動をすることによって、利用者数、利用者層などに変化はあったのか、わかる範囲内で、答えてほしい。 ◎電子書籍購入目標500冊のところ、実際に購入したのは1,070冊。電子書籍の購入冊数が事業計画よりも多かったので、図書の購入を差し控えたということはあるか。 ◎「他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを実施」とあるが、公表できる範囲で結構なので、具体的には、どのような機関に、どのような内容を問い合わせたのか。お聞きしたい。 <p>※「数字でみる防府図書館（統計資料）」に、職員23人のうち、司書資格ある職員16人とあり、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な催しが開催され、交流の機会となっていると思う。 ○例年通り、防府市子ども読書フェスティバルや図書館まつりの開催されたことは評価に値する。 ○「防府図書館利用者・サークル連絡会活動発表会」において、図書館職員が時宜を得たテーマでブックトークを実施されたのは、素晴らしい。対象を変えて、ブックトークをされることを期待する。今年は小泉八雲、やなせたかしさん、来年は宇野千代さんになるのか。 ○館内コンサートが好評。図書館内で音を出す？と最初驚いたが、上質なコンサートになり、多くの観客があり、音楽と本とのお話しもあり、とてもよかったです！評価できる。 ○図書館ボランティア養成講座の「お話し会の運営とプログラム作り」は、学ぶことが多く、高く評価できる。 ○ボランティア団体との協力が素晴らしい、防府図書館は、すごい図書館だと他市の方にほめていただくことが多い。誇らしい図書館。 ◇（館内で音乐会といった）企画をもっと増やし、図書館を情報豊かな場所にしてほしい。 ◇図書館単独のイベントだけでは利用者の幅が広がらないのであれば、実際に実行されているとは思うが、駅前やルルサス、アスピラートでのイベントなどとタイアップすることも必要である。そうすることによって、来館する人数や年齢層を増やし、交流の場を創っていく手立ての一つになると思う。 ◇新しい視点で、新しくボランティア活動をするきっかけになるような内容を期待する。 ◇高校生ボランティアの定着と活動範囲の拡大を期待する。図書館まつりの高校生ボランティアは、今年度も参加して欲しい。中学生のボランティアも参加を募集してはどうか。 ◇新たなボランティアとして中学生の図書館クラブ会員に期待したい。 ◎中学生の部活動の「図書館クラブ」への支援はいかがか。 ※「多くの高校生ボランティア等の協力を得て」『図書館年報』8頁）とある。館外個人貸出者数のうち、13歳～15歳、16歳～18歳の利用者が、令和5年度よりも増加していることに関係があるかもしれないが、あるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○評価は、Aだと思う。参加者が多く素晴らしい。 ○こども参加型で開催した「子ども読書フェスティバル」の山本 孝さんのワークショップは、楽しさが伝わってきた。また、午後もワークショップが盛り上がっていたのは喜ばしい。ボランティアも楽しいワークショップだった。 ○「子ども読書フェスティバル」、「図書館まつり」には多くの人が集まり、図書館の周知が広がっている。 ○資料展示は、様々なテーマで、数多く作られ、毎回楽しく見ていている。今後も、継続を期待する。 ○各特設コーナーは、新たな本の発見があり評価できる。 ○数多くの講座の開催を評価する。図書館職員みなさんの負担にならないように留意しつつ、これからも継続を望む。 ○「月いちキネマ」や「大人のくらし塾」など、生涯学習活動の拠点としての取組をしている。 ○シニア向け実用講座「大人のくらし塾」は、出席者が多く、なかなかの人気講座。これからも多様なテーマでの実施を期待する。 ○「防府図書館利用者懇談会」の継続や西日本図書館学会山口県支部での職員の研究発表を評価したい。 ○高齢福祉課との共催行事（認知症カフェ等）の展示を評価する。 ◇新たな取組を行うことも大切かもしれないが、現在行っているイベントを見直し、統合し、バージョンアップしていくことも必要だと思う。 ◇地域交流の場として、図書館内の行事をもっと増やし盛り上げてほしい。 ◇ボランティアサークルへの若い年齢層の勧誘が望まれる。

期待している。

※閲覧用椅子が増えたように思う。

4. 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館	5. 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館	6. 子どもたちの読書活動を進めていく図書館	7. 障害者や高齢者に優しい図書館
<p>○計画通り実施出来たと評価 A があり、今後も継続をお願いする。</p> <p>○郷土紙芝居が、わかりやすい場所に置かれていて利用しやすい。</p> <p>○上山満之進の常設展示や春川市との資料提供協定の特別展示など、地域の文化を大切にし、国際理解を深める図書館としての活動をされている。</p> <p>○地域の歴史や文化に係る事業を積極的に行うことは、防府市立防府図書館の特色のひとつであり、強みである。引き続き、実施されることを期待する。</p> <p>○防府史料 74 「周南先生文集初編九」の刊行及び、電子書籍への公開は、十分に評価に値する。</p> <p>○春川市立図書館との資料交換 20 周年記念特別展示は喜ばしい。</p> <p>◇歴史ある防府市は、素材には事欠かないはずなので、他の機関と連携しながら進めていくとよい。</p> <p>◇上山満之進だけでなく、防府出身の文化人をもっと顕彰し、紹介してほしい。</p>	<p>○「学校図書館支援業務」や「選書会への支援」、「読書感想文のヒント」など、学校との連携も図られている。</p> <p>○ネットワーク・システム活用による学校支援図書や学校司書との連携重視など学校図書館への支援を評価する。</p> <p>○「読書感想文のヒント」をソラールと連携することにより、科学の本の魅力を発信していく、とても評価できる。</p> <p>○指定管理者である防府市文化振興財団内の連携によるイベント開催は、防府図書館ならではの特徴のひとつ。さらなる連携を期待する。</p> <p>○防府市出身のチェロ奏者田中雅弘氏と図書館がコラボした「チェロで聴く 物語が奏でる音楽」と題した音楽会は素晴らしかった。多くの方が堪能されたことだろう。</p> <p>○「ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリー」の一環として開催の館内コンサートの大好評は喜ばしい。</p> <p>◇学校図書館との連携は必須であると思うが、学校の教職員に負担のかからないような配慮は必要であると思う。</p> <p>◇学校図書館がさらに活性化するシステムを生かしてほしい。</p> <p>○「地域文庫」、「貸出文庫」は、現在市内に何ヶ所くらいあるのか、またどのくらいの利用があるのか、教えてほしい。</p> <p>※ある小学校で、「本の福袋」が始まり、中の本を想像しながら選んでいるとのこと。楽しそうなお知らせする。</p>	<p>○行事に工夫があり、素晴らしい。</p> <p>○「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」や「夏休み読書感想文教室」など、夏休みを活用した取組は、子どもに対する読書活動の推進にとても良い。</p> <p>○「チャレンジ！調べる学習」と「読書感想文教室」は、子どもたちの本を読む力や、自ら学ぶ力につながっていると高く評価する。これらの開催は、防府図書館の特徴のひとつである。図書館職員には、かなり負担になるかと思うが、継続を望む。</p> <p>○読書感想文教室への応募が多数であることや、「図書館を使った調べる学習コンクール」の上山満之進賞を含め優秀な作品の応募は大変喜ばしい。</p> <p>○図書館職員の資質向上を実感できるブックトークを評価する。</p> <p>◇決まったイベントや行事を実行していくことも必要であると思うが、子どもの利用者自身がどうしたらよいか、何をしたいかを考える場もあったらよい。</p> <p>◇読書(本)離れへの対応の強化と学校での「読書の時間」の復活、「図書館教育」の教育課程内の位置付けと時間の設定(各学年で)('わっしょい文庫'の活用含めて)が必要だと思う。</p> <p>◇少子化対策として、子育てに役立つ図書館サービスのあり方を考えてみてはどうか。</p> <p>◇市内すべての小中学校に、図書館が身近な存在であることをよく知ってもらうために、見学、実施体験をもっとすすめてほしい。</p> <p>◇子どもたちに向けた図書館職員のブックトークをお願いしたい。</p> <p>◇これからも学会や研究会、研修会などで、積極的に発表されることを期待する。</p> <p>◎一昨年度は「ライぶらり」の体験をされたようだが、昨年度は実施されたのか。</p> <p>※「読み放題パック」は評価できる。[R7]</p> <p>※中学生の図書館活動参加の足掛かりになりそうな図書館クラブに期待したい。</p>	<p>○民生委員児童委員協議会理事会での障害者サービス・電子図書館サービス紹介を評価する。</p> <p>○「ひなぎくネット」の取組は、とても素晴らしいと思う。</p> <p>○那須正幹氏の 4 作品を音訳資料として電子図書館へ登録などの取組を評価する。</p> <p>◇障害者や高齢者の声を聞き、基本計画に落とし込んでいくことも必要であると考える。</p> <p>◇駅近にありながら、入り組んだ公共施設の 3 階にあることが、場所がわかりにくい。信号機に図書館の表示を設置するなど、外からわかりやすい表示の設置を要望する。</p> <p>◇階段、エレベーターの中に表示の設置など、さらなる表示の工夫を望む。</p> <p>◇認知症関連など、高齢者対象サービスの新企画スタートを望む。</p> <p>◇大活字本の書架の位置と高さが利用しにくい。貸出冊数も増えているので、対策を講じていただきたい。</p> <p>◇対面朗読 0 件だが、郵送貸出しもあり、電子図書の普及と「ひなぎくネット」の利用普及の実施を。</p> <p>◎R5 年度 R6 年度とも対面朗読の利用がなかったが、対面朗読サービスはかなり推進をしていると思う。わかる範囲内で結構だが、サービスに対して利用者がいない理由にどのようなものがあると考えているか。</p>

第2次防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価表

資料2

【令和6年度 図書館自己評価】

- 評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

R6年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ①資料収集業務 <ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の充実 ・図書購入目標冊数10,000冊。内一般7,700冊、児童2,200冊、郷土関係100冊 ・視聴覚資料購入目標点数130点。内CD100点、DVD30点 ・電子書籍購入目標冊数500冊 ②資料分類・目録整備業務 <ul style="list-style-type: none"> ・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供 ③書架管理・蔵書点検業務 <ul style="list-style-type: none"> ・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月) ④資料提供業務 <ul style="list-style-type: none"> ・正確・迅速な貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務の推進 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度館外個人貸出者数135,129人、館外個人貸出冊数485,605冊 ・電子図書館登録者数45,421人、電子書籍貸出冊数22,306冊 ①資料収集業務 <ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館資料収集要綱」に基づいて適正な選書・収集を実施 ・図書購入冊数9,281冊。内一般6,396冊、児童2,803冊、郷土関係59冊 ・視聴覚資料購入点数130点。内CD100点、DVD30点 ・電子書籍購入冊数1,070冊 ②資料分類・目録整備業務 <ul style="list-style-type: none"> ・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)を提供 ③書架管理・蔵書点検業務 <ul style="list-style-type: none"> ・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検を実施(10月8日・9日・10日、1月27日・28日・29日) ・臨時休館中に書庫整理、データ登録、データ修正を実施 ・延滞者または督促連絡後14日以上の予約付き資料延滞者等に対して、貸出停止とする内規を規定、10月1日から適用 ④資料提供業務 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂行 		
課題等	閉架書庫の所蔵資料の整理及び良質なコレクションの形成		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館			
R6年度事業計画	<p>①コンピュータシステム管理業務 ・円滑な運用によるサービスの強化 ・Web上の検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用</p> <p>②情報発信(広報)業務 ・ホームページの整備、充実 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとよかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」・防府市文化振興財団広報紙「メールマガジン」・「防府市メールサービス」・地域情報誌「ほっぷ」への記事の掲載、「インスタグラム」への投稿、地域コミュニティFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進</p> <p>③図書館年報作成業務 ・「令和5年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日)</p> <p>④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 ・施設・設備・備品の日常点検と安全で快適な利用環境の整備、的確な状況把握と防犯管理、危機管理体制の改善と整備(定期避難訓練2回実施)</p> <p>⑤利用マナー啓発業務 ・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月3日～9月1日)の実施</p>		
事業実施状況	<p>①コンピュータシステム管理業務 ・Web上の検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等についてホームページ上で紹介</p> <p>②情報発信(広報)業務 ・ホームページの情報を随時更新し、利用者が必要とする情報を適宜わかりやすく提供 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとよかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行、行事関係チラシ等をその都度作成するとともに、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」・地域情報誌「ほっぷ」、防府市商工会議所会報「幸せます」へ定期的に記事を掲載、「防府市メールサービス」・防府市文化振興財団広報「メールマガジン」へ随時記事を掲載、地域コミュニティFMラジオ(FMわっしょい「防府市からのお知らせ 情報モリモリ」)に毎月第2・4木曜日に出演、山口ケーブルテレビジョンのニュース番組「まちかどNEWS」(5月8日)に出演 ・「インスタグラム」で行事等のお知らせや図書館のPR、本や作家に関するミニコラムなどの情報を発信 ・航空自衛隊防府北基地に所属する航空学生138名に対して、防府図書館及びそのサービスについて紹介、結果、57名が図書館利用カードを作成 ・2月15日(土)から28日(金)までの間、市広報政策課による「ほうふほっとライン」(防府図書館編)において、防府図書館の紹介を実施</p> <p>③図書館年報作成業務 ・令和5年度「図書館年報」(一般用)・「数字で見る防府図書館」(子ども用)を発行(5月31日)</p> <p>④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 ・設備・備品の点検と修理を随時実施し、恒常的で計画的な清掃業務を実施。 ・館内のLED照明工事を実施、西側は11月から12月の休館日に、東側は1月27日(月)から2月20日(木)までの間臨時休館して実施 ・保安・警備・防犯対策の一環として、施設管理会社との協議を毎月開催 ・AEDや防犯カメラの点検を毎日開館前に実施 ・ルルサス消防避難訓練(10月10日)に参加、図書館単独の防災訓練(2月17日)を実施 ・新型コロナ感染拡大防止対策として、受付カウンターのビニールシート壁及び入口の体表検知カメラと足踏み式消毒スタンドの設置を継続 ・4月18日(木)、夜半に震度4の地震があつたが、児童書が数冊落下したのみ</p> <p>⑤利用マナー啓発業務 ・「マナーアップキャンペーン」を実施して(7月3日～9月2日)、「グッドマナーチャレンジカード」を配布し、来館5回の達成者は139人</p>		
課題等	館内環境整備(閲覧用椅子の買い替え)※閲覧用椅子は順次更新中		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	A

(3)図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
R6年度事業計画	<p>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回 ・コース、ステーション等の半年毎の見直し ・地域イベント等に合わせた移動図書館車臨時出張サービスの実施</p> <p>②電子図書館運営業務 ・インターネットを利用する電子図書館システムの利用促進</p>		
事業実施状況	<p>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回 ・台風接近に伴う荒天が予想された8月29日(木)午後及び30日(金)は運休 ・玉祖小学校2年生の生活科の授業(10月21日(月))において、移動図書館車の臨時出張サービスを実施</p> <p>②電子図書館運営業務 ・電子図書館を管理運営、システムを適切に管理運営し、普及活動を推進 ・郷土作家那須正幹氏の作品4点を音訳資料として電子図書館に登録(障害者等サービス「ひなぎくネット」登録者のみ利用可能)</p>		
課題等	移動図書館車と電子図書館の利用促進		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B
(4)調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
R6年度事業計画	<p>①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進と「レファレンス協同データベース」の活用 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化</p> <p>②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施</p>		
事業実施状況	<p>①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを実施 ・子どもカウンターにおいて資料利用案内・読書案内を実施 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」について、チラシやホームページで紹介するとともに、「レファレンス協同データベース」を活用してのサービスを実施 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを実施 ・レファレンス事例集や新着図書案内・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等を作成・整備 ・利用者へのサービスをより充実させるため、レファレンス研修に参加</p> <p>②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスを実施</p>		
課題等	職員のレファレンス能力の向上		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 1-(1) 図書資料の館外貸出冊数は、人口一人当たり5冊以上の達成を目指してほしい。
- 1-(1) 延滞者の貸出停止の内規を規定とあるが、必要である。まずは、防止に努めて欲しい。
- 1-(2) ホームページが充実していて、ネット上での書籍の検索も容易なので、とても使いやすい。
- 1-(2) 駅近くの図書館であり、利便性については申し分ない。その強みを生かして広報活動の継続を望む。できることを着実に実行していければよい。
- 1-(2) LED照明工事の予定通りの実施と臨時休館中の閉架書庫の整理を評価する。休館中は、予約貸出や、新刊本を閲覧できるようにするなどの工夫が見られたことも評価できる。
- 1-(2) 例年以上に広報活動に力を入れられていることは評価できる。多面的な広報活動への工夫(自衛隊航空学生を含む)は喜ばしい。
- 1-(3) 電子図書館の貸出冊数が倍増したことが評価できる。誰もが等しく学べる図書館になっている。特に、児童書の利用が増加した。
- 1-(3) 郷土作家那須正幹氏の作品4点を音訳資料として電子図書館に登録したとあり、障害者等図書館サービス「ひなぎくネット」に登録された方のみ、利用が可能になったとのことだが、素晴らしい。著作権等の関係があると思うが、範囲を広げることを望む。
- 1-(4) レファレンス業務等のベテラン職員による新人職員への講習を期待する。さらに、利用者へのサービスを充実させるためにも、レファレンス研修を積極的に実施してほしい。
- 1-(4) 大項目4にも関係するが、郷土史、郷土文学についての職員研修の充実を期待する。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

R6年度 事業計画	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第13回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月9日)、第34回「防府図書館まつり」(10月20日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
事業実施 状況	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第13回「防府市子ども読書フェスティバル」を6月9日に、第34回「防府図書館まつり」を10月20日に、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催 ・「防府図書館利用者・サークル連絡会活動発表会」において、図書館職員が「紫式部と平安文学」(4月25日)について、また「庶民も熱狂！江戸のブーム」(9月26日)についてブックトークを実施		
課題等	ボランティア団体及び生涯学習グループへの新規加入者の確保		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

R6年度 事業計画	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月頃4回シリーズ)		
事業実施 状況	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」は臨時休館中のため(館内LED照明工事実施)未実施 ・「図書館ボランティア養成講座」は、8月22日に「日本十進法分類法(NDC)の基本知識」を、11月14日に「お話し会の運営とプログラム作り」を実施		
課題等	新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	LED照明工事に伴う臨時休館のため、講座等一部実施できなかつた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 2-(1) 様々な催しが開催され、交流の機会となっていると思う。
- 2-(1) 例年通り、防府市子ども読書フェスティバルや図書館まつりが開催されたことは評価に値する。
- 2-(1) 「防府図書館利用者・サークル連絡会活動発表会」において、図書館職員が時宜を得たテーマでブックトークを実施されたのは、素晴らしい。対象を変えて、ブックトークをされることを期待する。
- 2-(1) 館内コンサートが好評。図書館内で音を出すのかと最初驚いたが、上質なコンサートになり、多くの観客があり、音楽と本とのお話しがあり、とても評価できる。このような企画をもっと増やして、図書館を情報豊かな場所にしてほしい。
- 2-(1) 図書館単独のイベントだけでは利用者の幅が広がらないのであれば、駅前やルルサス、アスピラートでのイベントなどとタイアップすることも必要。それにより、来館する人数や年齢層を増やし、交流の場を創っていく手立ての一つになると思う。
- 2-(2) 図書館ボランティア養成講座の「お話し会の運営とプログラム作り」は、学ぶことが多く、高く評価できる。
- 2-(2) ボランティア団体との協力が素晴らしい、防府図書館は、すごい図書館だと他市の方にほめていただくことが多い。誇らしい図書館である。
- 2-(2) 新しい視点で、新しくボランティア活動をするきっかけになるような内容を期待する。
- 2-(2) 高校生ボランティアの定着と活動範囲の拡大を期待する。図書館まつりの高校生ボランティアは、今年度も参加して欲しい。
- 2-(2) 中学生のボランティアも参加を募集してはどうか。新たなボランティアとして中学生の「図書館クラブ」会員に期待したい。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

R6年度 事業計画	<p>①イベント・懇談会業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワークショップ」第13回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月9日)において、山本孝さんによるワークショップを開催 ・「防府図書館ブリオバトル」の開催(11月) ・「月いちキネマ」の開催(毎月1回) ・「大人のくらし塾」の開催(9月・12月の2回) ・「防府図書館利用者懇談会」の開催(11月) <p>②資料展示・展覧会業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示ケース・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催 		
	<p>①イベント・懇談会業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第13回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月9日開催)において、絵本作家山本孝氏を講師に迎え、絵本の読み聞かせやワークショップを開催 ・「防府図書館ブリオバトル」を11月11日に開催 ・「月いちキネマ」を毎月1回開催 ・シニア向け実用講座「大人のくらし塾」では、第1回目に「聞いて得する健康づくり講座～毎日を元気にいきいき暮らす！～」(9月5日)を、第2回目に「自然を感じる園芸講座～芝人形を作ろう～」(12月1日、5日)を実施 ・「防府図書館利用者懇談会」を11月28日に開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月22日に開催、職員がサンタクロースやトナカイに扮し、好評 ・「西日本図書館学会山口県支部研究発表会」が防府図書館において開催され(12月22日)、図書館職員が「図書館オープンスペースを活用した音出しイベント事例」と題して、事例発表を実施 <p>②資料展示・展覧会業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示を31回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を50回実施 ・ブラウジングコーナー壁面において「布絵本「結う」」の作品展示を実施 ・展示室において「上山満之進と三哲文庫」の常設展示を実施 ・防府市高齢福祉課の企画で「認知症カフェ」のパネル展示やメッセージツリーの展示を実施 ・郷土作家 深光富士男所蔵展を展示ケース横で実施(3月15日(土)～3月31日(月)) 		
課題等	各行事における参加者の増加		
自己評価	各行事とも概ね計画通り実施、ワークショップは好評	評価	A

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

R6年度 事業計画	<p>①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進 		
	<p>①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習グループの活動拠点としての図書館の活用を推進するため、研修室他、集会スペースの利用許可等の業務を適正に行い、機会・場・設備・資料等を各団体に提供 		
課題等	生涯学習グループおよび会員数の増加		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 3-(1) 図書館行事に参加者が多く素晴らしい。
- 3-(1) こども参加型で開催した「子ども読書フェスティバル」の山本 孝さんのワークショップは、楽しさが伝わってきた。また、午後もワークショップが盛り上がっていたのは喜ばしい。ボランティアとして参加しても楽しいワークショップだった。
- 3-(1) 「子ども読書フェスティバル」、「図書館まつり」には多くの人が集まり、図書館の周知が広がっている。
- 3-(1) 資料展示は、様々なテーマで数多く実施され、毎回楽しく、新たな本の発見があり、評価できる。今後も、継続を期待する。
- 3-(1) 数多くの講座の開催を評価する。図書館職員の負担にならないように留意しつつ、これからも継続を望む。
- 3-(1) 「月いちキネマ」や「大人のくらし塾」など、生涯学習活動の拠点としての取組みをしている。特に、シニア向け実用講座「大人のくらし塾」は、出席者が多く、人気講座。これからも多様なテーマでの実施を期待する。
- 3-(1) 「防府図書館利用者懇談会」の継続を評価する。
- 3-(1) 西日本図書館学会山口県支部での職員の研究発表を評価する。
- 3-(1) 高齢福祉課との共催行事(認知症カフェ等)の展示を評価する。
- 3-(1) 新たな取組みを行うことも大切かもしれないが、現在行っているイベントを見直し、統合し、バージョンアップしていくことも必要ではないか。
- 3-(1) 地域交流の場として、図書館内の行事をもっと増やし、盛り上げてほしい。
- 3-(2) ボランティアサークルへの若い年齢層の勧誘を望む。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R6年度 事業計画	<p>①地域(郷土)資料収集業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊 		
事業実施 状況	<p>①地域(郷土)資料収集業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資料、特に防府市関係資料について情報を収集し、防府図書館独自の特徴的なコレクションを形成 ・年間郷土資料収集冊数346冊(購入冊数59冊、寄贈冊数287冊) ・郷土紙芝居の貸出81回 		
課題等	郷土資料に関する出版情報収集の強化		
自己評価	郷土紙芝居の貸し出し増	評価	A

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

R6年度 事業計画	<p>①上山満之進と三哲文庫顕彰業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ・ブラウジングコーナーでの上山満之進関連展示(9月) <p>②「防府史料」刊行業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防府史料第74集の刊行とホームページへの掲載(3月) 		
事業実施 状況	<p>①上山満之進と三哲文庫顕彰業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示室において「上山満之進と三哲文庫」を常設展示 ・ブラウジングコーナー壁面におけるパネル展示及び「上山満之進と台湾」の資料展示を実施(10月11日～11月4日) <p>②「防府史料」刊行業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防府史料第74集『周南先生文集 初編 九』(山県周南・著)を3月17日付で刊行し、電子図書館へ登録 		
課題等	郷土史、郷土文学に関する造詣の深化		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R6年度 事業計画	<p>①春川市立図書館との資料交換業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大韓民国春川市立図書館との資料交換と市民への提供(年1回、100冊程度交換) 		
事業実施 状況	<p>①春川市立図書館との資料交換業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づき100冊程度の資料を相互に寄贈し、受贈した資料を広く市民に提供 ・資料交換協定締結20周年を記念して、特別展示を実施(5月8日～1月26日) 		
課題等	外国語あるいは外国文化に対する職員の関心の深化		
自己評価	概ね計画通り実施できた 特別展示は好評	評価	A

【図書館協議会の意見(案)】

- 4-(1) 郷土紙芝居が、わかりやすい場所に置かれていて利用しやすい。
- 4-(2)(3) 上山満之進の常設展示や春川市との資料提供協定の特別展示など、地域の文化を大切にし、国際理解を深める図書館としての活動をされている。
- 4-(2) 地域の歴史や文化に係る事業を積極的に行うことは、防府市立防府図書館の特色のひとつであり、強みである。引き続き、実施されることを期待する。
- 4-(2) 防府史料74「周南先生文集初編九」の刊行及び、電子書籍への公開は、十分に評価出来る。
- 4-(2) 歴史ある防府市は、素材には事欠かないはずなので、他の機関と連携しながら進めていくとよい。
- 4-(2) 上山満之進だけでなく、防府出身の文化人をもっと顕彰し、紹介してほしい。
- 4-(3) 春川市立図書館との資料交換20周年記念特別展示は喜ばしい。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1)学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

R6年度 事業計画	<p>①学校図書館支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 <p>②「地域文庫」「貸出文庫」・団体貸出業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫・貸出文庫の利用促進 		
事業実施 状況	<p>①学校図書館支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出業務 ・学校司書の研修の機会や場を提供 <p>・小学校で開催される選書会のための図書貸出等、学校司書との連携を重視</p> <p>②「地域文庫」「貸出文庫」・団体貸出業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内15か所の公民館に配本所を設置、200冊の図書を3か月に1回交換 ・市内小学校に対し貸出文庫を実施 ・市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務を実施するとともに、小学校留守家庭学級を対象とした貸出のための選書サービスを実施 		
課題等	司書教諭や学校司書との更なる連携		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

(2)他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

R6年度 事業計画	<p>①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等の推進 ・文書館・博物館・美術館との連携強化 <p>②本財団内連携業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団内連携推進会議の開催(随時) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 		
事業実施 状況	<p>①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の図書館との資料相互貸借(貸出1,164冊・借受548冊)・レファレンス協力・合同研修等を実施 ・山頭火ふるさと館の第七回自由俳句大会のための投句箱を設置(応募期間5月1日～10月31日) ・「山頭火を学ぶ会」に講師として職員を派遣(8月21日、1月15日) ・山口県及び島根県の7市町村が合同で、「ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリー」を開催(10月19日～12月20日) ・ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリーの一環で、防府図書館では、防府市出身のチェロ奏者田中雅弘氏をゲストに迎え、ブラウジングコーナーにおいて「チェロで聴く 物語が奏でる音楽」と題した音乐会を開催、大好評(参加者155人)(11月4日) <p>②防府市文化振興財団内連携業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団内連携推進会議を随時開催し、連携事業について検討・協議 ・アスピラートとの連携企画として、関連資料展示「田中達也 見立ての世界」を実施(4月3日～5月6日) ・アスピラート市民スペースにおいて「ピーターと狼」の出張展示を実施(1月26日～) ・ソラールとの連携企画「読書感想文のヒント」を実施、理科に関する課題図書3冊について、科学館学芸員と図書館司書が異なる視点でヒントを提示 ・「紅葉どんぐり便」の受付窓口を図書館と移動図書館車に設置(11月1日～23日) 		
課題等	県内外の図書館等との連携強化		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 5-(1) 「学校図書館支援業務」や「選書会への支援」、「読書感想文のヒント」など、学校との連携も図られている。
- 5-(1) ネットワーク・システム活用による学校支援図書や学校司書との連携重視など、学校図書館への支援を評価する。
- 5-(1) 学校図書館との連携は必須であるが、学校の教職員に負担のかからないような配慮は必要であると思う。
- 5-(1) 学校図書館がさらに活性化するよう、システムを生かしてほしい。
- 5-(1) 「読書感想文のヒント」をソラールと連携することにより、科学の本の魅力を発信していく、とても評価できる。
- 5-(2) 指定管理者である防府市文化振興財団内の連携によるイベント開催は、防府図書館ならではの特徴のひとつ。さらなる連携を期待する。
- 5-(2) 「ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリー」の一環として開催の館内コンサートを行ったが、防府市出身のチェロ奏者田中雅弘氏と図書館がコラボした「チェロで聴く 物語が奏でる音楽」と題した館内コンサートは素晴らしかった。多くの方が堪能された。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

R6年度 事業計画	<p>①子ども読書活動推進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども図書館員」の開催(7月～8月に2回) ・「第12回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・「チャレンジ！調べる学習」の開催(7月) ・「読書感想文教室」の開催(7月～8月に2回) ・「おはなし会」の開催(家庭の日・クリスマス) ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・公共施設等での出前講座・出張イベント等の開催 		
事業実施 状況	<p>①子ども読書活動推進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども図書館員」を7月29日と8月5日に開催(参加者数18人) ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共に開催(応募作品数: 小学生47点・中学生18点) ・「チャレンジ！調べる学習」を7月14日に開催(参加者数11人) ・「読書感想文教室」を7月27日、28日に開催(参加者数19人)、参加者は先着順ではなく、抽選制で決定 ・「さんさんおはなし会」を毎月第3日曜日に開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月15日に開催(参加者数24人) ・職場体験・図書館見学等を受入(職場体験: 12件18人、図書館見学: 6件478人) ・防府市宮市福祉センター(8月9日)、西須賀保育所(9月12日、3月13日)に出張して、絵本の読み聞かせを実施 		
課題等	調べる学習コンクール出品数の増加		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R6年度 事業計画	<p>①ボランティアとの連携・協働業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施 		
事業実施 状況	<p>①ボランティアとの連携・協働業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第13回防府市子ども読書フェスティバル」を実行委員会、ボランティア団体と協働で開催 		
課題等	ボランティアとの協働事業の更なる推進		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 6-(1) こども向け行事に工夫があり、素晴らしい。
- 6-(1) 「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」や「読書感想文教室」など、夏休みを活用した取組は、こどもに対する読書活動の推進にとても良い。
- 6-(1) 「チャレンジ！調べる学習」と「読書感想文教室」は、こどもたちの本を読む力や、自ら学ぶ力につながっていると高く評価する。これらの開催は、防府図書館の特徴のひとつである。図書館職員には、かなり負担になるかと思うが、継続を望む。
- 6-(1) 「読書感想文教室」への応募が多数であることや、「図書館を使った調べる学習コンクール」の上山満之進賞を含め、優秀な作品の応募は大変喜ばしい。
- 6-(1) 決まったイベントや行事を実行していくことも必要であると思うが、こどもの利用者自身がどうしたらよいか、何をしたいかを考える場もあつたらよい。
- 6-(1) 市内すべての小中学校に、図書館が身近な存在であることをよく知ってもらうために、見学、実施体験をもっとすすめてほしい。
- 6-(2) 図書館職員の資質向上を実感できるブックトークを評価する。
- 6-(2) こどもたちに向けた図書館職員のブックトークをお願いしたい。
- 6-(2) 今後も学会や研究会、研修会などで、積極的に発表されることを期待する。
- 6 読書(本)離れへの対応の強化と学校での「読書の時間」の復活、「図書館教育」の教育課程内の位置付けと時間の設定(各学年で)('わっしょい文庫'の活用含めて)が必要だと思う。
- 6 少子化対策として、子育てに役立つ図書館サービスのあり方を考えてみてはどうか。

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

R6年度 事業計画	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料・電子書籍等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進		
事業実施 状況	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料・電子書籍等を収集・整備 ・郵送貸出、視覚障害者用音声付インターネット設備・電子図書館等のサービスを実施 ・障害者や高齢者に対して図書館の各種サービスを伝達してもらうため、令和6年6月定例民生委員児童委員協議会理事会において、障害者サービス及び電子図書館を紹介		
課題等	障害者や高齢者の電子図書館利用促進		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

R6年度 事業計画	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等のサービスの推進 ・「防府図書館ひなぎくネット」(国立国会図書館が制作・収集した音声デイジー等の視覚障害者等用データ等を提供するサービス)の周知と利用促進		
事業実施 状況	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読(0件)・郵送貸出(21件) ・「防府図書館ひなぎくネット」の周知と利用促進 ・郷土作家那須正幹氏の音訳テープをデジタルデータに変換、編集したうえで電子図書館の音声資料として4作品登録		
課題等	障害者や高齢者のためのサービスの周知		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R6年度 事業計画	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援 ・ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進		
事業実施 状況	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア団体の会員募集の支援としてホームページへの掲載、チラシ・冊子の作成・配布を実施 ・ボランティア活動へ支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の提供 ・視覚に障害がある人々へ市広報等を録音し届ける活動をしている「翠の会」へ図書館内各種施設を提供		
課題等	次世代を担うボランティアの育成		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 7-(1) 民生委員児童委員協議会理事会での障害者サービス・電子図書館サービス紹介を評価する。
- 7-(1) 駅近にありながら、入り組んだ公共施設の3階にあるため、場所がわかりにくい。信号機に図書館の表示を設置するなど、外からわかりやすい表示の設置を要望する。
- 7-(1) 階段、エレベーターの中に表示の設置など、さらなる表示の工夫を望む。
- 7-(1) 認知症関連など、高齢者対象サービスの新企画スタートを望む。
- 7-(1) 大活字本の書架の位置と高さが利用しにくい。貸出冊数も増えているので、対策を講じていただきたい。
- 7-(2) 「ひなぎくネット」の取組は、大変評価できる。
- 7-(2) 対面朗読は、0件だが、郵送貸出の実績はあり、電子図書の普及等、「ひなぎくネット」の利用促進を望む。
- 7-(2) 那須正幹氏の4作品を音訳資料にして電子図書館へ登録した取組を評価する。
- 7 障害者や高齢者の生の声を聞き、基本計画に落とし込んでいくことも必要であると考える。